

印刷新報

THE INSATSU SHIMPO

12月21日 月曜日
平成21年(2009年)

☆週二回刊☆

発行所 (株)印刷出版研究所

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町534-11 民ビル電話03(5155)7925
F.A.X:東京03(5155)7930・大阪06(6353)4944
〒530-0044 大阪市北区東天満2-9-4 千代田ビル東館電話06(6353)4966
年間購読料19,370円(税込)(振替口座00120-4-47973番)

(月・木曜日発行) 第4249号 (昭和33年11月11日 第三種郵便物認可)

日本WPA

CO₂量算定ソフト普及へ

国際展開を視野に

バタフライCO₂ロゴを発表

日本WPA(日本水なし印刷協会、正会員162社)は、会員に無償で貸与している印刷サービスのCO₂排出量算定ソフトをファイルメーカープロで作り上げ、より使いやすいと多く国語対応したものに一新した。また、バタフライロゴとカーボンオフセット量などをまとめて表示できるバタフライCO₂ロゴを新設し、エコプロダクツ2009において発表した。

印刷サービスCO₂排出量算定ソフトウエア「Printing Goes Green」(P GG)は清水印刷紙工業株式会社(東京都文京区)の清水宏和社長が開発し、LCA(ライフサイクルアセスメント)の普及のために日本WPAに無償で提供した。日本WPAでエクセルのソフトをファイルメーカープロにし、よりセキュリ



新設されたバタフライCO₂ロゴ(サンプル)

ティを強化して使いやすくした。

さらに、日本語と英語、中国語に対応。P GGを日本国内だけでなく、広く外国へも普及させ、印刷物のCO₂の見える化に国際的にも貢献したいという考えだ。日本やヨーロッパではCO₂排出量算定の取組みが比較的進んでいるが、アメリカや中国では動きが鈍いという背景がある。

国際対応の印刷物のCO₂排出量算定ソフトの大枠が作られた意味は、国際的な啓蒙としても大きい。各国によって排出量の原単位は異なるため、今後は産官学などが協力し制作していく必要がある。日本WPAではP GGのさらなる改良・普及に努め、印刷サービスの新しいジャンルを切り開いていく。

P GGは水なし印刷を前提としたもので、日本WPAのサイトからアクセスできる。研修を受けた会員が無料でダウンロードして使える仕組みをとっている。P GGを活用している会員企業の印刷物製造過程で発生したCO₂は、一般社団法人日本カーボンオフセット(COJ)との包括契約のもとでカーボンオフセットできる運用システムを構築している。数字は日本政府の持つ排出量から差し引かれる手続きとなっている。

これまではP GGによる取組みを印刷物に表示する際には、バタフライロゴ、COJロゴ、一部当たりのカーボンオフセット量と、ロゴを3つ表示する必要があった。今回新設したバタフライCO₂ロゴを使用すれば、この3つをまとめて代替使用できる。すっきりとした見た目となってスベ

ース節約も図れるようになり、P/Gとともにエコプロダクツ展会場で見目を集めた。

12月10日から3日間開催されたエコプロダクツ2009には過去最高の18万2500人が来場し、日本WPA会員企業からは15社が出展。水なし印刷を活用した新たなツールや環境配慮についてアピールした。

◆清水印刷紙工がLCA日本フォーラム会長賞を受賞

LCA日本フォーラム（山本良一会長・東京大学教授）主催の第6回LCA日本フォーラム表彰がエコプロダクツ2009において行われ、清水印刷紙工株式会社がP/Gにより会長賞を受賞した。同表彰制度は、国内



表彰される清水印刷紙工

におけるLCA手法の研究開発・普及・発展に寄与した取組みを顕彰するもの。

表彰企業のほとんどが大企業の中、清水印刷紙工は印刷サービスマン分野で顧客を巻き込んだ改善活動の実施が高く評価された。LCAの経験を生か

製袋加工・発送代行

- **刷り本支給** (運賃弊社負担)
- **製袋加工** (補助資材 弊社調達)
- **保管、在庫管理** (期間6ヶ月) → **ピッキング**
- **出荷** (各支店配送可能・発送リスト支給)

● データ渡し・原紙手配・印刷からの加工も承ります (印刷から製袋まで全て一貫生産)

営業品目 平袋・ガゼット袋・お札袋・フランスパン袋
メール封筒・純白、未晒などの製袋しにくい平袋、封筒・角底・手提げ袋の名入れ

したツールの開発、無償配布など波及効果が高く、今後の活動の発展が期待されている。

清水社長は「印刷サービスマンを表彰の対象としてもらったことに改めて謝意を表したい。印刷サービスマンでは前例がなく開発に苦労したが、多方面の方々にヒアリングを繰り返すことで、一定のレベルにまでまとめることができた。今後も低炭素・印刷サービスマンの普及に努めたいと述べている。

受賞講演では製造本部の赤城秀一郎長が新装P/Gの内容を紹介し、これを駆使したLCAの普及について語った。